

おわりに

ここまで、高齢者の認知機能にスポットを当てて、高齢者にはどのような認知機能の特性や行動特性があり、どのような課題が生じているのか、また、サービスを提供する民間事業者がどのように対応することが考えられるのか、ヒアリングなどで把握した課題や実例を交えながら紹介しました。

さらに、サービスを提供する民間事業者が取り組めることに加え、事業者と都民・行政・福祉関係者との連携の重要性や、都民の皆さまに知っていただきたいことについても述べてきました。

改めて、この報告書を手にした皆さまの気付きとなり、一歩ずつ行動することで、高齢者に配慮された、全ての世代が共に暮らせる社会をつくっていく一助となることを願っています。

検討に当たっては、多くの企業、団体の皆さまにヒアリングへのご協力をいただきました。次のページから、参考資料として伺ったお話しや取組についてまとめています。民間事業者の皆さまに参考にしていただければ幸いです。

